

第34回 福岡市民の歯を守る集い

歯の衛生週間のメインイベントとして福岡市・福岡市教育委員会・福岡市健康づくり財団・福岡市歯科医師会が主催し毎年開催されている。

今回もテーマは健口・食育・口腔介護とし、県歯会館の1・4・5階で8020ドック・口臭測定・咬合測定・歯科健康相談（一般・歯周病・小児・矯正・口腔外科・禁煙・口臭）・口腔ケア実践教室・口腔介護・予防歯科用品展示・義歯作製工程の展示およびブラバン作製・健口（食育）展示・ブラッシング指導・フッ素洗口・国際的なJICAの紹介展示が行われた。新企画として「さわろうサメの歯」の展示と歯科衛生士学校紹介などが行われた。講演会は4階の視聴覚室で行われ、午前は「はじめましょう 家庭での食育」午後では「自宅介護に備えて おいしく食べてもらうための食べさせ術 ～基本編～」の2題を講師の山口 知世先生（歯科医師・「食育と家庭支援研究会」主宰）をお招きして行われた。

会場は新型インフルエンザの影響下での開催でしたが、約800名を超える来場者があり、関係者および各団体のご協力のもと無事終了することが出来た。

前日祭のイベントとして、マリンワールド海の中道の「かいじゅうアイランド」にて「イルカ&アシカ歯みがき」が行われ、多くの観客や報道関係者の目の前で好奇心旺盛なイルカおよびアシカは初の歯みがきを披露していた。



